

藤沢市教育委員会定例会（1月）会議録

日 時 2011年1月13日（木）午後3時
場 所 東館2階教育委員会会議室

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の決定
- 3 前回会議録の確認
- 4 その他
 - (1) 第10回藤沢市30日美術館開催について
- 5 閉 会

出席委員

1 番 佐々木 柿 己
2 番 赤 見 恵 司
3 番 澁 谷 晴 子
4 番 小 澤 一 成
5 番 岩 本 育 子

出席事務局職員

教育総務部長	田 中 一 次	生涯学習部長	中 村 亮 一
教育総務部担当部長	村 岡 泰 孝	生涯学習部担当部長	須 藤 公 夫
教育総務部参事	中 島 徳 幸	生涯学習課長	秋 山 曜
教育総務部参事	吉 田 早 苗	総合市民図書館長	古 谷 一 幸
教育総務部参事	佐 川 悟	スポーツ課長	稲 垣 一 彦
教育総務部参事	酒 井 一 二	文化推進課主幹	神 尾 哲
学務保健課長	吉 住 潤	教育総務課主幹	須 田 朗
教育指導課主幹	岡 滝 男		
書 記	田 邊 義 博		

午後3時00分 開会

岩本委員長 ただいまから藤沢市教育委員会1月定例会を開会いたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本委員長 会議録署名委員を決定いたします。

本日の会議録に署名する委員は3番・澁谷委員、4番・小澤委員にお願いしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

岩本委員長 それでは、本日の会議録に署名する委員は3番・澁谷委員、4番・小澤委員にお願いいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本委員長 次に、前回会議録の確認をいたします。

何かありますか。特にないようですので、このとおりに承することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

岩本委員長 それでは、このとおりに承することにいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本委員長 次に、その他に移ります。

(1)第10回藤沢市30日美術館開催について、事務局の説明を求めます。

神尾文化推進課主幹 平成22年度第10回藤沢市30日美術館開催について、ご説明いたします。藤沢市30日美術館は、ささやかであっても充実した美術館を開催することで、活気と潤いのある芸術文化のまちを目指すことを目的にスタートした期間限定の美術館です。今年度は藤沢市で初めて実施事業へのネーミングライツを募集し、NTTファシリティーズが命名権を取得した事業となっております。

平成22年度は第10回の開催となりまして、会期につきましては、2月8日(火)から3月13日(日)までです。月曜日は休館となります。会場は市民ギャラリー常設展示室です。

今回の作品展は、市制施行70周年を記念いたしまして、日本美術の原点とも言える縄文や弥生土器に注目し、その形や装飾の美しさを考古学的見地からだけではなく、美術としてとらえ、ジャンルを越えて現代のさまざまな芸術家たちに大きな影響を与えてきた姿をご紹介します。力強く生命力あふれる「縄文」に対し、繊細で端麗な「弥生」、そのどちらも魅力でいっぱいです。出品する土器はすべて藤沢で出土したものです。また、その原始の美と現代の音楽との融合を今回初めて試みます。同じメロディーを奏でることのない音、世界を舞台に活躍する地元湘南の若手作曲家武智由香氏がこの空間に呼応する音の造詣を施しました。本展のために創

作された音のインスタレーションと、太古に生み出された土器との時空を超えたコラボレーションとなっております。詳細は本日お配りした資料をご参照ください。

また、今回もワークショップを行いたいと考えております。開催は3月5日（土）午前10時から、事前に申込みをしていただき、参加費は500円となります。内容といたしましては、「縄文をつくろう」ということで、粘土で縄文の模様を再現いたします。また、2月8日11時からオープニングセレモニーということで開会式を行いたいと考えております。30日美術館において作品と音楽の競演という新しい分野に初めて挑戦いたします。土器、音、空間、時空を超えたコラボレーション、太古の人々の美意識が現代の我々の心に相通ずるものがあることに驚かされる作品群をご鑑賞いただきたいと思っております。以上で説明を終わります。

岩本委員長

事務局の説明が終わりましたが、ご質問等ありますか。

ワークショップについてですが、先着24名というのは大人が対象かと思われるのですが、子ども対象のワークショップもぜひ企画していただきたいと思うのですが。

神尾文化推進課主幹

今回のワークショップは、各小学校、中学校にもポスター、チラシを配布することを考えておまして、大人限定ということでなく、子どもたちにも体験できる場をつくっていきたくと考えております。

岩本委員長

応募が多かった場合、人数は増やせるのですか。

神尾文化推進課主幹

会場の都合とか実際に粘土を用意しなければいけないので、事前にお申込みいただいて、今の段階では24名ぐらいで1つの部屋に入って、粘土も用意できると考えております。それ以上の人数が来た場合どうするかという部分では、今後、申込みの状況を考えながら、調整をさせていただきたいと思っております。

岩本委員長

縄文土器をつくったりというのは、すごい経験になると思うので、大人はもちろん子どもたちにも見てもらいたいし、音楽も聞いてもらいたいで、ぜひ足を運んでもらうための工夫をお願いいたします。

小澤委員

音とコラボレーションするというのは、どのようにするのか、わかる範囲で教えていただけますか。

神尾文化推進課主幹

今回は、私たちも初めての試みですが、土器というと、常設展示室が土器を中心に展示をしているのですが、作品として見ていただくという部分で、作曲家の紹介は資料に掲載していますが、若い方で、日本でも新進気鋭の作曲家ということで、その土器を見て、その作曲家の感覚で音楽をつくっていただいて流そうと考えています。実際に1月10日に音出しをいたしまして、スピーカー6つを使いまして、3枚のCDを別々のア

ンプから音を出してつくり上げる造詣的な音楽ということです。

赤見委員 オープニングセレモニーに武智由香さんは来られて生演奏するのですか。

神尾文化推進課主幹 武智さんは1月24日から文化庁の関係でロンドンに行かれるということで、戻ってこられるのが2月24日ということですので、オープニングセレモニーには難しいのですが、2月24日以降はすぐ見に行きたいと、ご本人も期待をされております。

赤見委員 常設展示室に展示されている縄文土器以外に、どちらからか追加して展示されるのですか。

神尾文化推進課主幹 藤沢から出土した作品のみを候補に上げております。

岩本委員長 藤沢から出土した土器は何点ぐらいあるのですか。

神尾文化推進課主幹 縄文、弥生それぞれ12点、合計24点を考えておりますが、展示に関しては作品24点の中で飾り方、段差とか幅の大きさといろいろありますので、それも検討しながら、目録を作成しながら飾りつけ等を検討していきたいと思いますが、概ね21～22点の展示を考えております。

秋山生涯学習課長 市の博物館資料として保管している考古資料は、全体では2万1,207点を保存しております。また、今回、出展します作品は文化財保護法で言いますと、埋蔵文化財というジャンルに該当いたしますが、弥生とか縄文の内訳については、今資料を持ち合わせておりませんので、後ほどご報告させていただきます。

澁谷委員 30日美術館としては、少し地味な感じもしますけれども、第10回ですし、市制70周年記念でもあるので、ぜひいろいろな方に来ていただきたいと思います。ワークショップとして実際に「縄文をつくろう」という企画がありますが、今からでも可能ならば、武智由香さんにトークイベントをお願いできないでしょうか。以前、作家にインタビューをしながらお話を伺うという企画がありましたが、今回も、作曲された曲に対する思いなどをお聞きするような企画ができればと思います。今からでは難しいかもしれませんが、緊急企画でいかがでしょうか。

須藤生涯学習部担当部長 武智由香さんは昨年「かながわ未来賞」を受賞された作曲家で、今、ロンドンの大学で勉強をされておまして、なかなかお忙しい方ですが、この期間に1度か2度お顔を出しいただくようにこちらからもお願いしていますが、スケジュールの関係もあって、その日にちがまだ特定できません。そういったお話はさせていただいた中で、トークショーまで行くかどうかわかりませんが、今回、つくっていただいた音楽の説明をしていただくということは可能かと思っておりますので、その辺は今後調整していきたいと思っております。

岩本委員長 このような土器などが藤沢にあるということで、博物館、美術館等の建設も考えていかなければいけないと改めて思いました。

 以上で、本日予定しておりました審議する案件は終了いたしました。

×××

岩本委員長 ここで、前回定例会からご報告しているのですが、この間の教育委員としての活動について、各委員から何かあればご報告していただきたいと思
います。

小澤委員 1月11日に社会教育委員の皆さんと懇談会をいたしました。これから策定されます「新生涯学習ふじさわプラン」の前段であります生涯学習提
言書を社会教育委員の皆様がつくりまして、「新生涯学習ふじさわプラン」
に対する思いのある方がたくさんおりました。その中でちょっと時間が少
なかったのですが、三者連携のお話になりまして、これからもう一度三者
連携を強めて地域が学校を育てていくような話し合いをして、これから必
要なのは社会教育委員と教育委員と連携を取りながら、地域が学校を育て
るといった意見交換をして、また今後とも協力体制をしていこうというよ
うな懇談会をいたしました。

岩本委員長 今後とも教育委員は藤沢市内のさまざまな会合などで皆様のご意見を
聞かせていただきたいと思いますと思っております。

÷÷÷

岩本委員長 それでは、次回の定例会の期日を決めたいと思っておりますが、2月3日(木)
午後3時から、傍聴者の定員は20名、場所は東館2階教育委員会会議室
において開催ということではいかがでしょうか。

 (「異議なし」の声あり)

岩本委員長 それでは、次回定例会は2月3日(木)午後3時から、傍聴者の定員
は20名、場所は東館2階教育委員会会議室において開催いたします。

 以上で、本日の審議の日程はすべて終了いたしました。

 午後3時16分 閉会

この会議の経過を記載し、相違ないことを確認する。

藤沢市教育委員会委員長

藤沢市教育委員会委員

藤沢市教育委員会委員